

まん延防止等重点措置協力支援金（飲食店等）【令和4年3月分】申請書【事業者情報等】

令和

記載例

北海道知事 鈴木 直道 様

小樽市長 迫 俊哉 様

営業時間短縮等の要請に協力しましたので、まん延防止等重点措置協力支援金（飲食店等）【令和4年3月分】申請書【事業者情報等】

これまでにも協力支援金を受給した方で、当時の事業者情報から変更の事業者番号（右上に記載）を右欄に1つ記入することで★印の項目に記入してください。過去に協力支援金を申請し受給した方は、必ず給付をうけた支給通知番号を記載してください。

これまでの協力支援金（以下のいずれかに☑）※申請の手引き8P参照	支給通知番号
<input type="checkbox"/> 【5月分】 <input type="checkbox"/> 【6月分】 <input type="checkbox"/> 【6～7月分】 <input type="checkbox"/> 【8月分】 <input type="checkbox"/> 【8～9月分】 <input type="checkbox"/> 【9月分】 <input type="checkbox"/> 【1～2月分】	

【事業者情報】	〒051-0022	北海道 室蘭市海岸町●丁目	固定電話、携帯電話欄は担当者の直通電話や業務用携帯電話等、日中連絡が取れる連絡先を記入
---------	-----------	---------------	---

連絡先 ※お問合せ先	固定電話	0143-00-0000	携帯電話	090-0000-0000
------------	------	--------------	------	---------------

【法人】	法人番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	0	0	0
申請事業者名	フリガナ	カブシキガイシャ ホッカイドウ												
	名称	株式会社 北海道												
担当者★	代表者役職	代表取締役社長					代表者氏名	胆振		太郎				
	所属部署	総務部経理課					フリガナ	ホッカイ		ハナコ				
							氏名	北海		花子				
	E-mail	keirika@hokkaido.com												
		<input checked="" type="checkbox"/> 今後、新型コロナウイルス感染症対策に係る支援策等について情報提供がある場合に、配信を希望される場合は、左にチェック☑してください。												

資本金の額又は出資の総額★	500万	円	常時使用する従業員の数★	25	人
企業規模区分★	<input checked="" type="checkbox"/> 中小企業 <input type="checkbox"/> 大企業 ※該当するほうにチェック☑を入れてください				

通知書送付先★	〒				
	※上記事業者の所在地別の送付先を指定する場合は、こちらをご記載ください。				
	該当する区分にチェックを入れてください。				

【個人事業者】	フリガナ				
申請事業者名	名称				
	代表者役職			代表者氏名	
生年月日	西暦 年 月 日				
E-mail★	<input type="checkbox"/> 今後、新型コロナウイルス感染症対策に係る支援策等について情報提供がある場合に、配信を希望される場合は、左にチェック☑してください。				
個人事業者の自宅住所★	〒				<input type="checkbox"/> 自宅住所に通知物の発送を希望される方は、左にチェック☑してください。
通知書送付先★	〒				
	※上記事業者の所在地及び自宅住所とは別の送付先を指定する場合は、こちらをご記載ください。				

【口座振替の申し出】 北海道から支払われる協力支援金については、下記より口座振替払いとしていただきたく申し出ます。過去の協力支援金の支給通知書の写しを提出した方は記入不要です。新たに申請する場合や口座を変更したい方のみ記入してください。

振込先口座★ (注1)	金融機関	△△		銀行 信用金庫 信用組合・協同組合	室蘭	本店	支店
	金融機関コード	0	0	0	0	支店番号	0 0 0
	預金種目 (注2)	普通		当座	口座番号 (右詰めで記入)		
口座名義人★ (カナ)	口座名義フリガナ (注3)	カ) ホッカイドウ					
	口座名義人	株式会社 北海道					

※ 必ず申請者名義の口座を指定してください。（法人の場合は、当該法人の口座に限ります。）
 注1 ゆうちょ銀行の場合は「記号番号」を記入せず「店名」「口座番号」をそれぞれの欄にご記入ください。
 注2 お振込みは、普通預金口座、又は、当座預金口座のいずれかのみとなります。
 注3 「口座名義フリガナ」は通帳中面の「おなまえ」欄にカタカナで記載されている名義をご記入ください。

この申請書で申請する施設(店舗)数の合計	1	施設	この申請書で申請する支援金額の合計	450,000	円
----------------------	---	----	-------------------	---------	---

注 審査の結果、申請いただいた全部又は一部の施設について、支給対象外となる場合があります。施設ごとの支援金額は、企業規模や売上高等に応じて算出されます。支援金額の合計については、全ての申請施設の金額算出後に記載してください。

※ 申請書等は、ご提出前に写しを取ってお手元で保管してください。

要請期間中に第三者認証を取得し、認証取得日から認証店A※1として営業した場合

注意) 要請期間中に第三者認証を取得し、認証日から認証店B※2として営業した場合は様式1-2-イを使用してください。

※1 21時までの営業時短(酒類提供11~20時まで) ※2 20時までの営業時短(酒類提

<様式1-2-ウ>

記載例

まん延防止等重点措置協力支援金(飲食店等)【令和4年3月分】
申請書【申請施設の情報】

要請期間中、全ての期間にご協力いただいた施設(店)

※要請期間は、令和4年3月7日(月)から3月21日(月)まで

例: 居酒屋、レストラン、喫茶店、バー、スナック、カラオケボックス等の業態を記入

フリガナ	ホッカイドウレストラン			業種	レストラン	
名称	北海道レストラン			業態		
住所	〒051-0022 室蘭市海岸町●丁目●-●			電話番号	0143-■■-▲▲	
従来(通常)の営業時間	11:00 ~ 23:00		開店年月日	1991年2月28日		
第三者認証の取得年月日	令和4年3月10日					
営業許可	種別	<input checked="" type="checkbox"/> 飲食店営業許可 <input type="checkbox"/> 喫茶店営業許可(該当種別にチェックしてください)				
	名義	北海太郎	許可日	令和元年2月28日		
	許可番号 <small>※許可証上部の番号</small>	123456	有効期限	令和6年2月28日		
	申請者と許可の名義人が違う場合の理由(確認できる書類を添付してください) 申請者は店舗オーナー、許可の名義人は店舗運営の責任者					
取組施設	要請期間の取組内容及び協力開始日	要請期間(3月7日(月)~3月21日(月・祝))の全てにおいて、 <input checked="" type="checkbox"/> 認証取得前は営業時間を5時から20時までの間に短縮(酒類提供なし)又は休業しており、認証取得後は営業時間を5時から21時までの間に短縮(酒類提供11時~20時まで)しました。 <input checked="" type="checkbox"/> 同一グループの同一テーブルへの入店案内を4人以内としました。 <input checked="" type="checkbox"/> 業種別ガイドラインや感染防止対策チェックリスト項目を遵守しました。 <input checked="" type="checkbox"/> カラオケ設備の提供を行う場合、利用者の密を避ける、換気の確保等、感染対策の徹底を行いました。※上記項目に全て該当することが協力支援金の支給要件です。				
		認証前	要請期間における営業時間を記入してください。 休業した場合は「99:99~99:99」とご記入ください。		11:00 ~ 20:00	
		認証後	要請期間における営業時間を記入してください。 休業した場合は「99:99~99:99」とご記入ください。		11:00 ~ 21:00	
			要請期間における酒類の提供時間を記入してください。 提供をやめた場合は「99:99~99:99」とご記入ください。		16:00 ~ 20:00	
中小企業(個人事業者を含む。以下同じ。)の下限額での申請希望	中小企業で、参照する月の1日当たりの売上が75,000円以下のため、売上高の確認できる資料の提出を省略し、 協力支援金の下限額(認証取得前3万円/日、認証取得後2万5千円/日)で申請される場合 、下記にチェックを入れてください。 ※この場合、申請に必要な書類のうち、売上高の確認できる資料は提出不要となります。 <input checked="" type="checkbox"/> 当施設(店舗)については、協力支援金の下限額で申請します。					

支援金額の下限額で申請する場合、チェックを入れてください。

中小企業・個人事業者

<様式1-3-ア>

認証店A（21時まで営業時短（酒類提供11時～20時まで））として営業

記載例

施設（店舗）名

2019年、2020年又は2021

支援金の下限（25,000円/日）で申請する場合、「0」を入力してください。

計算してください。

2021年 3月

上記期間の売上高

1日当たりの売上高…①

0円 ÷ 31日 = 0円
小数点以下切り上げ

☆2019年3月2日以降に営業を始めた施設（店舗）は次の計算式により、1日当たりの売上高①を計算することも可能です。

次のいずれかを選択

●2021年3月2日から2022年3月6日までの間に開店の場合

A1：開店から2022年3月6日までの1日当たりの売上高

A2：2021年4月から2022年2月までの期間のうちから「任意で選択した月」（その月の1日から月末まで）の1日当たりの売上高

●2020年3月2日から2021年3月1日までの間に開店の場合

B1：2020年4月から2021年2月までの期間のうちから「任意で選択した月」（その月の1日から月末まで）の1日当たりの売上高

●2019年3月2日から2020年3月1日までの間に開店の場合

C1：2019年4月から2020年2月までの期間のうちから「任意で選択した月」（その月の1日から月末まで）の1日当たりの売上高

A1～C1

参照期間（A1）

参照期間（A2～C1）

から選択

開店年月日

任意で選択した月

年 月 日 ~ 2022年 3月 6日 年 月

参照期間の売上高

暦日数

1日当たりの売上高…①

円 ÷ 日 = 円
※小数点以下切り上げ

●83,333円以下の場合…1日当たりの支援金額【A】25,000円（定額） 【A】 25,000円

●83,334円以上、250,000円以下の場合

1日当たりの売上高に0.3をかけて1日当たりの支援金額【B】を算出

1日当たりの売上高…①

1日当たりの支援金額

円 × 0.3 = 円 ⇒ 【B】 円

※千円未満は切り上げ

●250,001円以上の場合

1日あたりの売上高①と比較して、2022年の3月の1日当たりの売上高の減少額が187,500円以下ですか？

2022年の3月の1日当たりの飲食業の売上高を計算してください。

2022年の3月の売上高

暦日数★

1日当たりの売上高…②

1日当たりの減少額…③

円 ÷ 日 = 円 ⇒ 円
小数点以下切り上げ ※③=①-②

★開店日が2022年3月1日以前→31日 2022年3月2日以降→開店日から3月31日までの暦日数

◆減少額が187,500円以下の場合…1日当たりの支援金額【C】75,000円（定額）

【C】 円

◆減少額が187,501円以上の場合

1日当たりの減少額③に0.4をかけて1日当たりの支援金額を算出

1日当たりの減少額…③

1日当たりの支援金額

支援金額…④

円 × 0.4 = 円 ⇒ 円

※千円未満は切り上げ

1日当たりの売上高①に0.3をかけて1日当たりの支援金額を算出

1日当たりの売上高①

1日当たりの支援金額

支援金額…⑤

円 × 0.3 = 円 ⇒ 円

※千円未満は切り上げ

支援金額④、支援金額⑤のいずれか低い額（上限額20万円）

【D】 円

支援金額算出

【A】～【D】の該当金額

協力日数（15日）

当該期間の総支給額

25,000円 × 15日 = 375,000円

中小企業・個人事業者

<様式1-3-ア>

認証店A（21時まで営業時短（酒類提供11時～20時まで））として営

記載例

施設（店舗）名

2019年、2020年又は2021年の3月の1日当たりの飲食業の売上高（消費税及び地方消費税を除く）を計算してください。

年 3月
上記期間の売上高 円 ÷ 暦日数 31 = 1日当たりの売上高…① 円
小数点以下切り上げ

☆2019年3月2日以降に営業を始めた施設（店舗）は次の計

次のいずれかを選択

- 2021年3月2日から2022年3月6日までの間に開店した場合
A1：開店から2022年3月6日までの1日当たりの売上高
- 2021年4月から2022年2月までの期間のうちから「任意で選択した月」（その月の1日から月末まで）の1日当たりの売上高
- 2020年3月2日から2021年3月1日までの間に開店した場合
B1：2020年4月から2021年2月までの期間のうちから「任意で選択した月」（その月の1日から月末まで）の1日当たりの売上高
- 2019年3月2日から2020年3月1日までの間に開店した場合
C1：2019年4月から2020年2月までの期間のうちから「任意で選択した月」（その月の1日から月末まで）の1日当たりの売上高

選択した特例の内容に応じて、年月日または年月を記入してください。

A1～C1 から選択 A1 参照期間（A1） 開店年月日 2021年12月25日～2022年3月6日 参照期間（A2～C1） 任意で選択した月 年 月

参照期間の売上高 20,000,000 円 ÷ 暦日数 72 日 = 1日当たりの売上高…① 277,778 円
以下切り上げ

1日当たりの売上高に基づき、該当する算出方法を以下の方法から選んで記入してください。

●83,333円以下の場合…1日当たりの支援金額【A】25,000円（定額） 【A】 円

●83,334円以上、250,000円以下の場合

1日当たりの売上高に0.3をかけて1日当たりの支援金額【B】を算出

1日当たりの売上高…① 円 × 0.3 = 1日当たりの支援金額 円 ⇒ 【B】 円
※千円未満は切り上げ

●250,001円以上の場合

1日あたりの売上高①と比較して、2022年の3月の1日当たりの売上高の減少額が187,500円以下ですか？

2022年の3月の1日当たりの飲食業の売上高を計算してください。

2022年の3月の売上高 1,000,000 円 ÷ 暦日数★ 31 日 = 1日当たりの売上高…② 32,259 円 ⇒ 1日当たりの減少額…③ 245,519 円
小数点以下切り上げ ※③=①-②

★開店日が2022年3月1日以前→31日 2022年3月2日以降→開店日から3月31日までの暦日数

◆減少額が187,500円以下の場合…1日当たりの支援金額【C】75,000円（定額）

【C】 円

◆減少額が187,501円以上の場合

1日当たりの減少額③に0.4をかけて1日当たりの支援金額を算出

1日当たりの減少額…③ 245,519 円 × 0.4 = 1日当たりの支援金額 98,207.6 円 ⇒ 支援金額…④ 99,000 円
※千円未満は切り上げ

1日当たりの売上高①に0.3をかけて1日当たりの支援金額を算出

1日当たりの売上高① 277,778 円 × 0.3 = 1日当たりの支援金額 83,333.4 円 ⇒ 支援金額…⑤ 84,000 円
※千円未満は切り上げ

支援金額④、支援金額⑤のいずれか低い額（上限額20万円）

【D】 84,000 円

支援金額算出

【A】～【D】の該当金額 84,000 円 × 協力日数（15日） 15 日 = 当該期間の総支給額 1,260,000 円